

## 中国共産党第 18 期中央委員会第 5 回全体会議公報

(2015 年 10 月 29 日、中国共産党第 18 期中央委員会第 5 回全体会議にて採択)

中国共産党第 18 期中央委員会第 5 回全体会議が 2015 年 10 月 26 日から 29 日まで北京で開催された。

今回の全体会議には、中央委員 199 人と中央委員候補 156 人が出席した。中央紀律検査委員会常務委員会委員と関連分野を担当する同志も会議に列席した。党の第 18 回全国代表大会の代表の一部基層の同志と専門家・学者も会議に列席した。

全体会議は、中央政治局によって主宰された。中央委員会総書記の習近平が重要講話を行った。

全体会議は、習近平が中央政治局の委託を受けて行った活動報告を聴取・討論し、国民経済・社会発展第 13 次 5 カ年計画の制定に関する中共中央の提案」を審議・採択した。習近平は全体会議で「提案（討論稿）」を説明した。

全体会議は、党の第 18 期中央委員会第 4 回全体会議（四中全会）以来の中央政治局の活動を十分に評価し、以下の認識で一致した。国内外の情勢の深刻で複雑な変化、とりわけ経済の下方圧力の拡大という試練の前に、中央政治局は、中国の特色ある社会主義という偉大な旗を高く掲げ、党の第 18 回全国代表大会と第 18 期中央委員会の第 3 回・第 4 回全体会議の精神を全面的に貫徹し、マルクス・レーニン主義と毛沢東思想、鄧小平理論、「三个代表」重要思想、科学発展観を指導とし、習近平総書記の一連の重要講話の精神を貫徹し、全党・全軍・全国各族の人民の団結と指導をはかり、「四つの全面」の戦略配置を堅持し、国内と世界の二つの大局の統一的計画を堅持し、「安定の中で進歩を求めるといふ全般的な活動の基調を堅持し、経済発展の新常態（ニューノーマル）を積極的に牽引し、改革開放の推進に力を入れ、マクロ調整の強化と革新を進め、各種のリスクと試練を有効に解消し、経済の安定的かつ比較的急速な発展と社会の調和・安定を保持し、「三厳三実」（幹部向けの行動規範）教育を展開し、中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争の勝利 70 周年を盛大に記念し、党と国家の各事業は新たな重大な成果を上げた。

全体会議は、2020 年までの小康社会（ゆとり社会）の全面的な建設は、中国共産党が確定した「二つの百年」奮闘目標の最初の百年の奮闘目標であることを確認した。「十三五」（第 13 次 5 カ年計画、2016-2020）時期は、小康社会の全面的建設にとっての決戦段階であり、「十三五」計画は、この奮闘目標の実現をめぐる制定されなければならない。

全体会議は、「十二五」（第 12 次 5 カ年計画、2011-2015）時期に中国の発展が上げた重大な成果を高く評価し、複雑に入り組んだ国際環境ときわめて困難かつ複雑な国内の改革

発展の安定という任務を前に、中国共産党は、全国各族の人民を団結させリードして、粘り強く奮闘し、開拓と革新を進め、党と国家の事業発展の新たな局面を切り開き、中国経済の実力と科学技術の実力、国防の実力、国際影響力はさらに上のステップに進んだとの認識を確認した。とりわけ重要なのは、第18回党大会以来、習近平同志を総書記とした党中央が、中国の特色ある社会主義を揺るぎなく堅持し発展させ、果敢に実践し、巧みに革新し、共産党執政の法則と社会主義建設の法則、人類社会発展の法則に対する認識を深め、国政運営の一連の新理念・新思想・新戦略を形成し、新たな歴史条件下での改革開放の深化と社会主義現代化の推進加速に科学的な理論指導と行動指南を提供したことであるとされた。

全体会議は、「十三五」期の中国の発展環境の基本的な特徴を分析し、中国の発展は、大いに力を発揮できる重要な戦略的チャンス期に依然としてあると言えるが、多くの矛盾が重なり、リスクが増える深刻な試練にも直面しているとの認識を確認した。我々は、戦略的チャンス期が内包する深刻な変化を正確に把握し、各種のリスクや試練により有効に対応し、引き続き力を集中させて自らの問題に取り組み、新たな境地を不断に開拓し発展させて行く必要がある。

全体会議は、「十三五」期の中国の発展の指導思想を次のように提起した。中国の特色ある社会主義の偉大な旗を高く掲げ、党の第18回全国代表大会と第18期中央委員会第3回・第4回全体会議の精神を全面的に貫徹し、マルクス・レーニン主義と毛沢東思想、鄧小平理論、「三つの代表」重要思想、科学発展観を指導とし、習近平総書記の一連の重要講話の精神を貫徹し、「全面的な小康社会建設、全面的な改革深化、全面的な法による統治国家、全面的な厳しい党内統治」という戦略配置を堅持し、「発展は第一の重要任務である」を堅持し、質と効果の向上・発展を中心とし、経済発展の新常態をリードする体制・メカニズムの発展方式の形成を加速し、戦略のコントロール能力を保持し、「安定の中で進歩を求め」を堅持し、経済建設・政治建設・文化建設・社会建設・エコ文明建設・党建設を統一的に推進し、小康社会の全面的建設を期限通りに実現し、第二の百年の奮闘目標の実現と中華民族の偉大な復興という「中国の夢」の実現により堅固な土台を築く。

全体会議は、小康社会の全面的建設という奮闘目標を期限通りに実現し、経済社会の持続的で健全な発展を推進するには、次の原則を守る必要があると強調した。人民の主体としての地位を堅持し、科学的発展を堅持し、改革の深化を堅持し、法による統治国家を堅持し、国内・国際の二つの大局の統一を堅持し、党の指導を堅持する。

全体会議は、小康社会の全面的な建設に向けた新たな目標として次の要求を提出した。経済の中高速成長を保持し、発展の均衡性・包括性・持続可能性を高めることを土台として、2020年までに国内総生産と都市・農村住民の一人あたり収入を2010年の2倍とし、産業をミドル・ハイエンドへと高め、経済成長に対する消費の貢献度を大きく高め、戸籍

人口の都市化率の向上を加速する。農業の近代化で際立った進展を上げ、人々の生活の水  
準と質を幅広く向上させ、中国の現行の基準における農村の貧困人口の脱貧困化を実現し、  
貧困県に区分けされる県をなくし、特定地域での貧困蔓延問題を解決する。国民の素養と  
社会の文明の程度を大きく高める。生態環境の質を全体として改善する。各方面の制度の  
成熟と定型化を進め、国家の統治体系と統治能力の現代化で重大な進展を収める。

全体会議は、「十三五」期の発展目標を実現し、発展の難題を打開し、発展の優位性を育  
てるには、「革新、協調、緑色、開放、共有」という発展理念をしっかりと樹立し、実際に  
貫徹する必要があると強調した。これは、中国の発展の全局にかかわる深刻な変革である。  
全党の同志は、この変革の重大で現実的意義と深遠な歴史的意義を十分に認識しなければ  
ならない。

全体会議は、革新発展を堅持し、国家発展の全局の核心的な位置に革新を置き、理論革  
新や制度革新、科学技術革新、文化革新など各方面の革新を絶えず進め、党と国家のあら  
ゆる活動に革新を貫かせ、革新が社会全体に広がるようにしなければならないと呼びかけ  
た。発展の基点を革新に置き、革新を促進する体制構造を形成し、革新駆動により依存し  
た先発優位をより発揮できるリーダー型の発展を実現する必要がある。発展の新たな原動  
力を育て、労働力や資本、土地、技術、管理などの要素の配置を最適化し、イノベーション・起業の活力を引き出し、大衆による起業と万人によるイノベーションを推進し、新た  
な需要を解き放ち、新たな供給を創出し、新技術・新産業・新業態の力強い発展を推進す  
る。発展の新たな空間を開拓し、沿岸・河川・新シルクロードに沿った経済ベルトを主と  
した縦横の経済軸・ベルトを形成し、若干の重点経済区を大きく育て、ネットワーク強国  
戦略を実施し、「インターネット+」行動計画を実施し、共有経済を発展させ、国家ビッグ  
データ戦略を実施する。革新駆動発展戦略の実施を深め、全面的な革新をリードという科  
学技術革新の役割を大いに発揮させ、一連の国家重大科学技術プロジェクトを実施し、重  
大革新分野において一連の国家実験室を設立し、国際的なビッグサイエンス計画とビッグ  
サイエンスプロジェクトを積極的に提出し、先頭に立って組織する。農業の近代化を大き  
く推進し、農業発展方式の転換を加速し、効率生産や製品安全、資源節約、環境友好型と  
いう特徴を備えた農業近代化の道を歩む。産業の新体系を構築し、製造強国の建設を加速  
し、「中国製造 2025」を実施し、工業の基盤強化プロジェクトを実施し、一連の戦略的産業  
を育て、近代サービス業発展加速のための行動を展開する。発展の新たな体制を構築し、  
革新発展に有利な市場環境や財産権制度、投融資体制、分配制度、人材育成・導入・使用  
メカニズムの形成を加速し、行政管理体制の改革を深め、政府の機能の転換を進め、行政  
スリム化と権限移譲、移譲・管理の結合、サービスの最適化を引き続き推進し、政府の能  
率を高め、市場の活力と社会の創造力を引き出し、各種の国有資産管理体制を整備し、近  
代財政制度や税収制度を構築・整備し、現代の金融市場の発展に適応した金融監督管理の  
枠組みを改革・整備する。マクロ調整の方式を革新・整備し、地域間の調整を土台として

的を絞った調整を強化し、価格形成に対する政府の介入を減少し、競争性を備えた分野での商品とサービスの価格を全面的に自由化する。

全体会議は、協調発展を堅持し、中国の特色ある社会主義事業の総体配置を十分に把握し、発展における重大な関係を正確に処理し、都市・農村地域の協調発展を重点的に促進し、経済社会の協調発展を促進し、新型工業化・情報化・都市化・農業近代化の同時発展を促進し、国家のハードパワーを増強すると同時に国家のソフトパワーの向上にも配慮し、発展の全体性を絶えず増強する必要があるとの認識を確認した。発展の協調性の増強にあたっては、協調発展の中で発展の空間を拡大し、弱い分野を強化しながら発展の長期的な力を高める必要がある。地域の協調発展を推進し、生産要素が秩序よく自由に流動し、主体機能の制約が有効に働き、基本的な公共サービスが均等で、資源環境が支えることのできる地域協調発展の新たな局面を形成する。都市・農村の協調発展を推進し、都市・農村の発展一体化の体制・メカニズムを整備し、農村インフラ投資の長期的なメカニズムを整備し、都市公共サービスの農村への延長を推進し、社会主義新農村の建設レベルを高める。物質文明と精神文明の協調発展を推進し、文化の改革発展を加速し、社会主義精神文明の建設を強化し、社会主義文化強国を建設し、思想道德建設と社会信託建設を強化し、国家意識・法治意識・社会的責任意識を増強し、科学の精神を提唱し、中華の伝統・美德を発揚する。経済建設と国防建設の融合発展を推進し、発展と安全への配慮と富国と強軍との統一を堅持し、軍民融合発展戦略を実施し、全要素・多分野・高効果の軍民の緊密融合発展の局面を形成する。

全体会議は、グリーン発展を堅持し、資源節約と環境保護という基本国策を堅持し、持続可能発展を堅持し、生産が発展し生活が豊かで生態環境の良好な文明発展の道を揺るぎなく歩み、資源節約型・環境友好型の社会の建設を加速し、人と自然が調和的に発展する近代化建設の新たな局面を形成し、「美しい中国」の建設を推進し、世界の生態安全に新たな貢献を果たさなければならないと呼びかけた。人と自然の調和する共生を促進し、科学的で合理的な都市化の局面と農業発展の局面、生態安全の局面、自然沿岸の局面を構築し、環境友好型で低炭素の循環発展産業体系の構築を推進する。主体機能区の建設を加速し、国土空間の開発保護における基礎制度としての主体機能区の役割を発揮させる。低炭素循環発展を推進し、クリーンで低炭素の安全で効率的な近代エネルギー体系を構築し、炭素排出がほぼゼロのエリアをモデル事業として実現する。資源の全面的な節約と効率的な利用を進め、節約・集約・循環利用という資源観を確立し、エネルギー使用权・水使用权・汚染物排出権・炭素排出権の初期分配制度を設立・整備し、節約に励む社会的な潮流の形成を推進する。環境対策を強化し、環境の質を高めることを核心として、最も厳しい環境保護制度を実行し、大気・水・土壌汚染の防止対策行動計画の実施を進め、省以下の環境保護機構に対する監視・監察・取締の垂直管理制度を取る。生態安全の防壁を築き、保護の優先と自然回復を主とする方針を堅持し、山・水・林・田・湖の生態保護と修復工事を

実施し、大規模な国土緑化行動を展開し、天然林保護制度を整備し、「藍色海湾修復行動」を展開する。

全体会議は、開放発展を堅持し、中国経済の世界経済へのさらなる融合の傾向に従い、相互利益とウィンウィンの開放戦略を励行し、さらに高いレベルの開放型経済を発展させ、グローバルな経済統治と公共製品の供給に積極的に参加し、グローバル経済統治における中国の制度的な発言権を高め、広範な利益共同体を構築する必要があるとした。対外開放の新局面を切り開き、対外開放の内容を豊かにし、対外開放の水準を高め、戦略的相互信頼や経済貿易協力、人文交流を共同推進し、深く融合した相互利益協力の局面形成に努めなければならないとした。対外開放戦略の配置を整備し、双方向の開放を推進し、グローバル経済の協力と競争への沿岸地区の全面的な参加を支援し、世界的な影響力を持った先進製造基地と経済区を育成し、国境経済協力区や越境経済協力区の発展水準を高める。対外開放の新体制を形成し、法治化・国際化・利便化の進んだビジネス環境の構築を進め、サービス貿易促進体系を整備し、参入前内国民待遇とネガティブリストを足した管理制度を全面的に実行し、サービス業の対外開放を秩序よく拡大する。「一帯一路」(シルクロード経済ベルト、21世紀海上シルクロード)の建設を推進し、関連国・地域との多分野での相互利益・ウィンウィンの実務協力を推進し、生産能力と設備製造での国際協力を推進し、陸海と内外が連動し東西双方向に開かれた全面的開放の新局面を打ち立てる。内地と香港・マカオ、大陸部と台湾との地域協力の発展を深め、国家経済の発展と対外開放における香港・マカオの地位と機能を高め、香港・マカオの経済発展や生活改善、民主推進、調和促進を支援し、相互利益とウィンウィンの方式で兩岸の経済協力を深化し、より多くの台湾地区の一般民衆や青少年、中小企業が利益を受けられるようにする。グローバル経済統治に積極的に参加し、国際経済秩序の平等・公正、協力・ウィンウィンの方向への発展を促進し、自由貿易区戦略の実施を加速する。国際的な責任と義務を積極的に担い、世界の気候変動対応の交渉に積極的に参加し、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に能動的に参加する。

全体会議は、発展の共有を堅持し、「発展は人民のためである、発展は人民を抛り所にする、発展成果は人民が共有する」を堅持し、より有効な制度を手配し、人民全体が発展の共同建設と共有を通じてより多くのメリットを感じられるようにし、発展の原動力を高め、人民の団結を増し、ともに豊かとなる方向へと着実に前進しなければならないと呼びかけた。「人々が参加し、尽力し、享有する」という要求に照らして、ボトムラインを守り、重点を際立たせ、制度を整備し、予期した目標へ誘導し、機会の公平を重視し、基本的な国民生活を保障し、国民全体がともに全面的な小康社会へ入ることを実現する。公共サービスの供給を増加し、人々が最も関心を寄せ最も直接的で最も現実的な利益問題の解決から着手し、公共サービスの共同建設の能力と共有の水準を高め、旧革命根拠地や民族地区、辺境地区、貧困地区に対する移転支払いを拡大する。脱貧困難題克服プロジェクトを実施

し、精度の高い貧困支援と脱貧困化を進め、支援する貧困家庭を分類し、貧困人口に対する資産収益支援制度の実行を検討し、出稼ぎ者の多い農村に残された児童や女性、老人のケアサービス体系を構築・整備する。教育の質を高め、義務教育の均衡発展を推進し、高校段階の教育を普及し、中等職業教育の学費・雑費の免除を類別に推進し、登録とカード作成を行った経済困難家庭の学生からいち早く普通高校の学費・雑費免除を実施し、経済困難家庭の学生の支援の全カバーを実現する。就業と起業を促進し、就業優先戦略を堅持し、さらに積極的な就業政策を実施し、起業支援政策を整備し、柔軟な就業や新たな就業の形態に対する支持を強め、技術労働者の待遇を高める。収入格差を縮小し、住民の収入増加と経済成長との同時進行、労働報酬の向上と労働生産率の向上の同時進行を堅持し、賃金の健全で科学的な水準決定や正常な増加、支払いの保障のメカニズムを整備し、最低賃金の増加のメカニズムを改善し、市場による各要素への貢献に対する評価ならびに貢献に応じた分配のメカニズムを整備する。より公平で持続可能な社会保障制度を構築し、全国国民社会保険参加計画を実施し、従業員基礎年金の全国統一調達を実現し、一部の国有資本を社会保険基金の充実に割り当て、都市・農村住民の大病保険制度を全面的に実施する。「健康中国」の建設を推進し、医薬衛生体制の改革を深め、薬品価格を調整し、医療と医療保険、医薬品との連動を実行し、都市・農村をカバーする基本医療衛生制度と近代病院管理制度を構築し、食品安全戦略を実施する。人口の均衡発展を促進し、計画生育という基本的国策を堅持し、人口発展戦略を整備し、1組の夫婦が2人の子どもを産み育てることのできる政策を全面的に実施し、人口の高齢化に対応するための行動を積極的に展開する。

全体会議は、発展は党の執政と国家振興の第一の重要任務であり、各級党委員会は発展の法則に対する認識を深め、党による経済社会発展指導の体制・メカニズムを整備し、党の各級組織の建設を強化し、基層党組織の総体機能を強化しなければならないと強調した。人民大衆を動員して団結奮闘し、党の大衆路線を貫徹し、大衆の宣伝・組織能力を高め、経済社会発展の重大問題と大衆の切実な利益にかかわる問題での話し合いを強化し、人民の各種の權益を法に基づいて保障し、各族人民の祖国建設の主人としての意識を引き出す。思想政治活動を強化し、大衆にかかわる活動の体制・メカニズムと方式・方法を革新し、改革発展の推進と社会の調和安定の維持に向けた全社会の合意と力を最大限集める。人材強国の建設を加速し、人材優先発展戦略の実施を深め、人材発展の体制改革と政策革新を推進し、国際的な競争力を持った人材制度の優位性を形成する。法治の思想と方式を運用して発展を推進し、党による憲法・法律に基づく国政運営、党内法規に基づく党内の管理・統治の能力と水準を全面的に高める。社会ガバナンスを強化・革新し、社会ガバナンスの緻密化を推進し、全国国民が共同建設し共有する社会ガバナンスの局面を構築する。安全発展の観念を確固として打ち立て、「人民の利益が至上である」ことを堅持し、公共安全体系を整備し、安全生産責任・管理制度を改善・実施し、人民の生命財産の安全をしっかりと守る。国家安全戦略を実施し、国家の政治・経済・文化・社会・情報・国防などの安全を揺るぎなく守る。

全体会議は、目下の状況と任務を分析し、現在と今後一定の時期における全党と全国の重要な政治任務は、全体会議の精神の貫徹と実施を進め、「提案」が確定した各項目の手配と要求を実現することであると強調した。全党は、全体会議の精神へと思想を統一させ、情勢をはっきりと認識し、自信を揺るぎないものとし、粘り強い奮闘を続け、全国各族の人民を団結・指導して「4つの全面」戦略配置を協調的に推進し、小康社会の全面的な建設という戦略任務を期限通り実現しなければならない。全面的な厳しい党内統治と規則にのっとった党内統治を堅持し、清廉な政治を行う党風を樹立し反腐敗闘争の推進を進め、反腐敗闘争の成果を固め、風紀改良の長期的なメカニズムを整備し、「腐敗を恐れる、腐敗できない、腐敗したくない」体制・メカニズムの構築に力を入れ、一部の幹部の無作為や職権乱用などの問題の解決に努め、清く正しい政治環境を積極的に作り出し、責任を引き受けるやる気に満ちた精神状態を形成し、クリーンな幹部と政府、政治の実現に努力し、堅固な政治によって経済社会の発展に保証を与えなければならない。

全体会議は、党規約の規定に基づき、中央委員会委員の補充として中央委員会委員候補の劉曉凱、陳志榮、金振吉を就任させることを決定した。

全体会議は、令計画と周本順、楊棟梁、朱明国、王敏、陳川平、仇和、楊衛沢、潘逸陽、余遠輝の深刻な規律違反問題に関する中共中央紀律検査委員会の審査報告を審議・採択し、中央政治局がすでに出していた令計画と周本順、楊棟梁、朱明国、王敏、陳川平、仇和、楊衛沢、潘逸陽、余遠輝に対する党籍剥奪処分を確認した。

全体会議は、全党・全国各族人民に対し、習近平同志を総書記とする党中央の周囲にしつかりと団結し、万人の心をつととし、苦難を克服して奮闘し、小康社会の全面的建設の決戦段階での偉大な勝利をともに勝ち取ろうと呼びかけた。